

第 1 1 章 苦情处理

1. 苦情件数の種類別推移

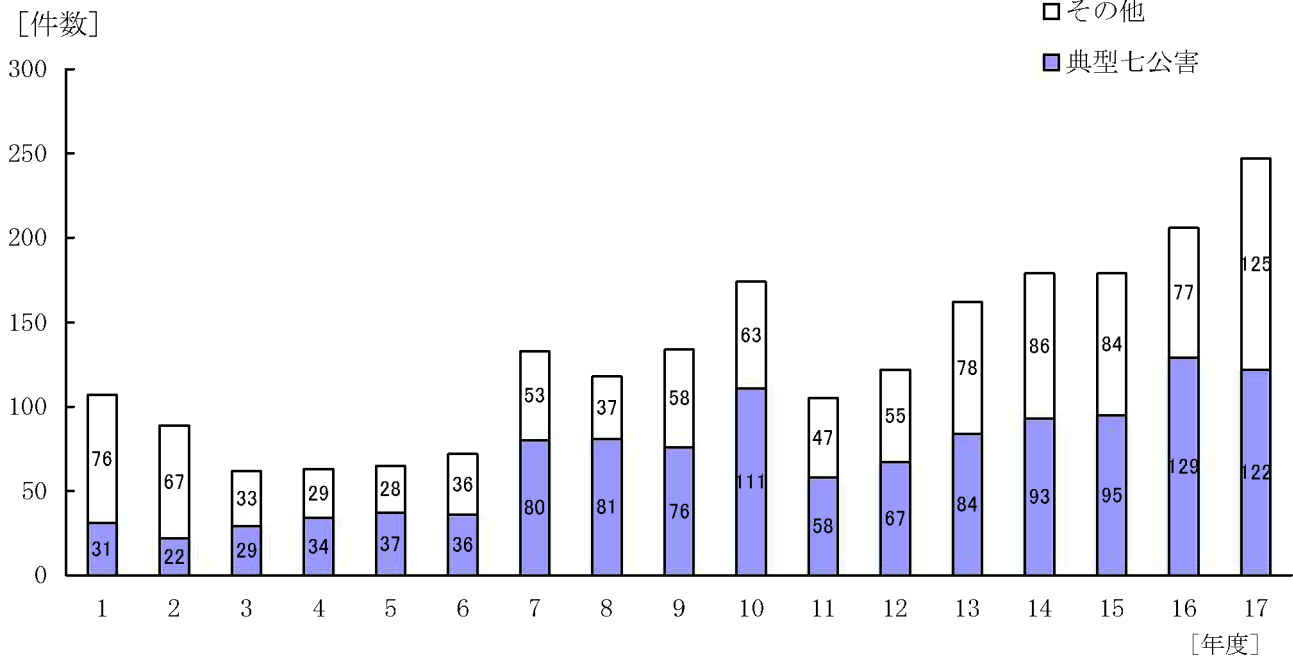
平成 17 年度に本市に寄せられた公害に関する苦情件数は 247 件、年度別公害苦情件数の推移は下表のとおりである。典型 7 公害の苦情件数をみると、平成 17 年度は、野焼きに伴う大気汚染に関する苦情が例年どおり多かったことに加え、騒音に関する苦情が大幅に増加した。

また、典型 7 公害以外の苦情も増加傾向にあり、例年、雑草の繁茂及び廃棄物の不法投棄に関する苦情が大半を占めている。

種別		年度																
		H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
典型七公害	大気汚染	3	3	9	12	12	9	20	20	26	54	28	38	46	66	78	68	58
	水質汚濁	3	2	1	6	8	5	21	9	10	18	5	7	14	6	9	12	9
	土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	騒音	18	12	16	13	12	9	20	27	26	22	5	8	6	8	20	5	35
	振動	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	2
	悪臭	6	5	3	3	5	12	19	24	13	16	20	13	18	12	21	10	18
計		31	22	29	34	37	36	80	81	76	111	58	67	84	93	95	129	122
その他		76	67	33	29	28	36	53	37	58	63	47	55	78	86	84	77	125
合計		107	89	62	63	65	72	133	118	134	174	105	122	162	179	179	206	247

(備考) 1 地盤沈下に関する苦情は、近年申し立てられていない。
2 平成 16 年度までは(旧)八代市のデータを記載。

【苦情件数の推移】

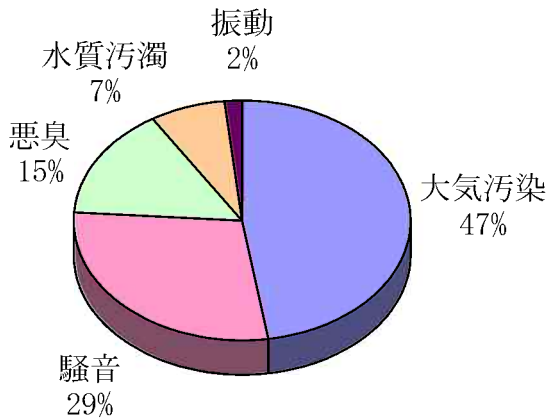


2. 苦情件数の種類別構成

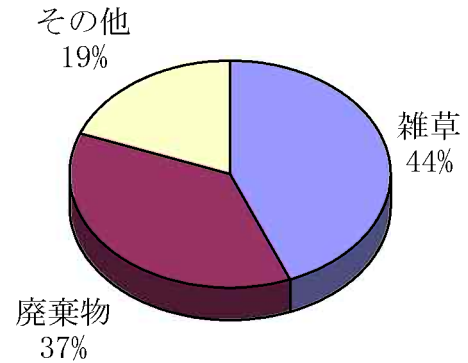
公害苦情は、典型7公害と呼ばれるものと、それ以外に大別できる。

平成17年度に寄せられた苦情のうち、典型7公害とそれ以外の内訳をそれぞれグラフに示した。

[典型7公害 122件]



[典型7公害以外 125件]



【苦情件数の種別構成】

種類別	発生源	農 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気・ガ ス・水 道業	運 輸・通 信業	卸 売・小 売業・ 飲食業	サ ービ ス業	公 務	そ の 他					合 計		
												公 園	家 庭生 活	事 務 所	道 路	空 き 地		そ の 他	不 明
典 型 7 公 害	大気汚染	8			3	3		1	1	1			37			1	3	58	
	水質汚濁	2				2		1								2	2	9	
	騒音振動	3			11	5		2	5	3				1	1	6		37	
	悪臭	3			1	3								3		7	1	18	
	小計	16			15	13		4	6	4				41	1	16	6	122	
7 公 害 以 外	雑草														50	5		55	
	廃棄物				3									3	12	11	17	46	
	その他					2				1				8	2		11	24	
	小計				3	2				1				11	2	12	61	33	125
合計		16			18	15		4	6	5			52	2	13	61	49	6	247

3. 典型7公害に係る月別受理件数

平成17年度の典型7公害の苦情件数を月別に示した。

例年どおり春から夏にかけて苦情が増加した。平成17年度は、事業場・一般家庭からの騒音に関する申立てや一般家庭での野焼きに関する苦情が多く寄せられたこともあり、気候が良くなるにつれ、窓を開放し、身近な環境と触れる機会が多くなることが要因と考えられる。

典型7公害苦情月別受理件数（平成17年度）

種類 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
大気汚染	4	8	10	3	5	5	4	8	3	4	2	2	58
水質汚濁	2	1	0	3	0	0	2	0	0	1	0	0	9
騒音振動	1	3	2	7	5	3	2	2	2	2	6	2	37
悪臭	3	2	0	6	2	1	0	2	0	1	0	1	18
合計	10	14	12	19	12	9	8	12	5	8	8	5	122

※平成17年度は、土壌汚染及び地盤沈下に関する苦情はなかった。

